

## 会報誌「深山会」第18号訂正のお知らせ

同窓会会報誌「深山会」第18号に掲載の記事について下記のとおり誤りがありましたので、お手数をお掛けいたしますがお手元の会報誌を修正いただきますようお願い致します。会員及び関係者のみなさまにお詫び申し上げます。

### 記

	誤		正
6ページ2段12行目	(S26年卒)	→	(S27年卒)
8ページ5段12行目	岐阜聖徳学園	→	中部学院大学
〃	床田真樹氏	→	床田寛樹氏
8ページ33段1行目	近畿大会2位入賞	→	近畿大会出場
10ページ16段28行目	山村博和氏	→	山村和博氏
10ページ29段12行目	近畿大会準優勝	→	近畿大会出場



# 深山会

題 字  
故 塩川利員学園長書

発 行 者  
箕面学園中学・高校同窓会  
会長 山本 裕  
箕面市箕面 7-7-31  
TEL. 072-723-6551  
FAX. 072-724-2188

会員数 17,018 名

創立70周年記念号  
学校法人 箕面学園

70<sup>th</sup>  
*Anniversary*

## 深山会の由来

- ・学舎の北にそびえる山、そこには思い出多い急流（箕面滝）があり、不滅である。
- ・母校が裏山の如く、永遠に美しく輝き発展してほしいとの願望である。
- ・深山は、校歌にある「緑こゆけき深山の姿」である。





## 70周年記念特別号発刊に当たり

同窓会会長 山本 裕

昭和40年高卒（1965年）

箕面学園中学校・高等学校が創立70周年を迎えましたこと、同窓会を代表いたしまして、こころよりお慶び申し上げます。これもひとえに生徒の指導に当たられました校長先生はじめ教職員の方々のご努力の賜物と深く感謝いたします。また、会員の皆様には同窓会活動にご理解とご支援を賜り御礼をもうしあげます。さて、箕面学園中学校・高等学校同窓会の会員数は17,018名で、毎年百数十名が加入し続けており、やがて20,000名を超える時代が到来するなか、これを支える組織作りがこれからの課題です。と同時に学園とつながる力を今以上に強め、車の両輪のごとくに未来に進んでいく所存です。思い起こせば私が入学した昭和38年当時の校舎はまだ木造でありました。

当時、校舎の北側は山頂までススキに覆われ、南側は現在の国道171号線まで建物もなく見渡せることができました。

そして今、学園はここ箕面の地にしっかりと根をおろし「常にその時代にあう人材を育てる」と言う創立者塩川利員先生の理念のもと、その思いを継承された大長庸祐理事長には、学園の発展と教育の充実、次代を担う若者の育成に力を注いで頂きますことを切望しております。同窓会からは、70周年記念事業の一環として記念品の目録を大長理事長に寄贈いたしました。

最後に、大長庸祐理事長はじめ学園関係者のみな様の、より一層のご活躍と、箕面学園の益々の発展をお祈りいたします。



学校法人箕面学園

理事長 大長 庸祐

同窓会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、沢山の同窓生が多方面で活躍されていることは、非常に心強い限りであります。さて、学校法人箕面学園は今年で創立70周年を迎えました。

去る11月13日に記念式典を箕面市グリーンホールにて、その後場所を箕面学園体育館に移し、祝賀会を行いました。今回は高等学校の創立70周年でありましたが、学園全体でお祝いしようと企画いたしました。

式典、祝賀会には来賓の方々をはじめ、設置3校の同窓生、沢山の私学関係者、日頃学園にご協力をいただいている方々にお集まりをいただき、また塩川利員先生のお写真とともに、和やかな雰囲気の中、多くの皆様のお陰をもちまして、無事に終えることが出来ました。箕面学園中学校高等学校同窓会からは、私の念願でありました校歌額を記念品として体育館に寄贈していただきました。校歌の作詞者が塩川利員先生でありますので、是非ともお名前を残したい、そんな気持ちもあり同窓会の役員の皆様にご無理をお願いして実現

いたしました。この場をお借りして心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。昨年より校舎の耐震化工事を行っていましたが、今年11月初旬に全ての工事が完了いたしました。

またそれに併せてトイレ等をはじめ、外構周りの整備をさせていただきました。同窓生の方に、校歌額だけでなくそのあたりも見ていただきたく、式典会場から移動して体育館で祝賀会を行いました。もし式典、祝賀会にお見えになれなかった方も是非、学園にお寄りいただければ嬉しい限りです。学園創設者の塩川利員先生の「生徒には親切に丁寧に」この言葉を大切にして、学園運営に努めていきたいと思っております。また、今後とも引き続き、卒業生をどんな時でも暖かく迎えることの出来る学園づくりにたゆまぬ努力をしていきたいと思っております。最後になりましたが、これからも同窓会深山会の皆様とともに発展していきたいと考えておりますので、今後とも皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。





箕面学園高等学校

校長 宮城 福三

平素は高等学校の教育活動の推進にご協力ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

創立70周年記念式典が、かくも盛大に挙行されましたことはひとえに同窓会会長、役員の皆様方の絶大なご声援のお陰であると感謝申し上げます。70周年を契

機に今一度建学の精神に立ち戻って次への誓いを新たに、学園の将来がより豊かなものになることを願っています。これからも同窓会の皆様方のより一層のご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



箕面学園高等学校

教頭 梶間 敏幸

佳日、11月13日に箕面学園の創立70周年記念式典ならびに祝賀会が盛大に開催されましたこと誠におめでとうございます。これも日々の卒業生の皆様方のご尽力があればこそと、こころから、お慶び申し上げます。

一口に70周年と申しましても、ここに至るまで、日々数々の学園ドラマが繰り広げられてきたことでしょう。

その積み重ねが現在の箕面学園の礎となっていることを考えますと感慨深いものがあります。今後、同窓会が90年・100年と、校祖の教えであります「初心忘るべからず」の精神で益々の隆盛を極められますことを心からお祈り申し上げます。



学校法人箕面学園

事務長 河野 育郎

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶びもうしあげます。また、平素は箕面学園高等学校の教育活動にご支援を賜り誠に有難うございます。戦後間もなくの昭和21年に財団法人箕面学園高等女学校が設立されて、70年を迎えます。去る平成27年11月13日に学校法人箕面学園創立70周年記念式典並びに祝賀会を挙行することができました。これもひとえに同窓会の皆様のご尽力の賜物として心より感謝もうしあげます。

同窓会員も17,000名を超える規模になられたと聞い

ています。それだけの歴史を歩んでこられたことは、学校関係者の一人として非常に誇らしく、先日の70周年記念祝賀会の場にもホテルマンとして卒業生が帰ってきて下さいました。本当に素晴らしいことで喜んでおります。今後も、創立者塩川利員先生の「自強不息」のことばどおり何事にも自ら励み怠ることのないように学園の益々の発展に微力ながら全力で努めてまいりますので、同窓会員の皆様には、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願いもうしあげます。





### ◆ 盛大な記念式典を開催

平成27年11月13日 午前10時 於箕面グリーンホール

祝辞 来賓関係 200名

衆議院議員原田憲治様、大阪府知事松井一郎様（代読）、箕面市長倉田哲郎様、大阪私立中学高校連合会会長坪光正躬様はじめ皆様がたから創立者故塩川利員先生の戦後教育への情熱とご苦勞そして学園の基礎固めに努力され幾多の困難を乗り越え今日の学園があること、その意を現理事長大長庸祐先生が継承されながらも新しい学園づくりに邁進され今後さらなる発展をされますよう祈念しますとの祝辞をいただきました。

記念祝賀会 午後12時30分 本学体育館

主催者挨拶で大長庸祐理事長は、創立者故塩川利員先生の弱冠21歳にて荒廢した国を思い再建は教育からと考へ学園設立へと幾多の困難にも耐え情熱を傾け「初心忘れるべからず」のたとえのとおり邁進されたその思いを継承し、教職員は勿論、関係者各位の方々のご協力のもと今後80周年100周年と続くよう頑張りますと挨拶されました。



宮城校長先生からも生徒の立場になり教員と一体になりいろいろサポートしていきますと挨拶されました。同窓会、山本会長からは当時の思い出を振り返り、70年の歴史の重みを改めて感じました。

今後はより一層、学園とともに生徒の為に何が出来るかを考え協力していきます。今後ますますの発展をお祈りしますと挨拶をされました。

皆様と共に校歌斉唱し、大阪私学中学高校連合会副会長 天野久様の乾杯のもと祝賀会を開催。

和氣満々としたなかでの楽しい時間を共有できたことが素晴らしい財産となり今後の活力となると確信しました。

祝賀会終了後故塩川利員先生の遺影と共に同窓会、高校、福祉・保育専門学校・幼稚園の順番で記念撮影をしました。



創立70周年記念行事について





## 創立70周年に想うこと

稲野 廣 (S25年中卒) (前同窓会会長・参与)

このたび箕面学園が創立70周年を迎えて、記念式典と祝賀会が菊花薫る11月13日の佳き日に創設の地である箕面で盛大に開催されましたこと誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。本学園の創立者である塩川利貞理事長・学園長先生は昭和21年3月敗戦で打ちひしがれた日本をたて直すのは教育からと考えられ本学園を創設されました。草創期での校舎の建設、設備の充実、生徒の募集に骨身を削る苦勞を重ねられ、以後70年にわたり教職員の先生、卒業生の皆様の協力、支援を得て栄ある70周年を迎えることができましたことに卒業生の一員としてこの上ない喜びを感じている次第です。振り返ってみますと昭和21年3月に箕面学園女学校として開校され翌22年3月の教育基本法公布にともない同年4月に6、3、3、4制といわれる学制改革があり新制中学となり、私は男女共学の新制中学第1期生として入学しました。塩川先生に初めてお会いしたのは昭和22年3月の開校されて間もない仮校舎でありました西天満小学校内での入学試験・面接の時でした。以来永年にわたり親しくご指導を頂いて参りました。

このことは私の人生にとって、このうえない幸運だとも思っています。在校時での懐かしいおもいの中で強く印象に残っていることは仮校舎の校庭の西側に教会があり讃美歌を歌ったこと。昭和23年春に箕面の現在地に木造の新校舎が竣工し、勉強できた喜びと校庭の石ころ拾いで整地に努めたことです。戦後間もない混乱期の不便な交通事情と食糧不足のなか、夏は淡路洲本の四州園や丹後宮津天の橋立で一週間ほどの臨海学習にいったこと。修学旅行では夜行列車で東京にいき皇居二重橋前で記念写真を撮ったこと。当時の米は配給制でしたから食食用のお米は各人で持参したと記憶しています。私共草創期の卒業生は結びつきが強く同窓会をよく開催してきました。塩川先生は必ず元気な顔をだされ親しく接して頂き見守って頂きました。この度の祝賀会の終わりに塩川先生の「お写真」をみんなで囲んで記念撮影をしました。いま思えば今日まで塩川先生が元気な姿でおられ一緒に70周年を祝うことができているとおもい残念でなりません。

終わりにあたり箕面学園がますます発展されますことをご祈念申し上げますとともに次の80周年記念式典に出席できるように私自身も健康に留意していきたいと思っています。





## 懐かしの思い出

同窓会常任幹事 西 中 卓 義 (S26年卒)

昭和24年4月7日に高校に入学した。当時の通学路は杉並木で地道だった。付近には民家もなかった1期生は(2年)は男子が10数名、私たち1年生は男子8名と女学校からの進学組17、8名だったと記憶している。中学は1～3年で30～50名だったかな、写真の校舎の1階右から高2、高1、中3、2階が中2・中1と、少人数教育を受けていた。手前の建屋は、用務員室でかわれていた「五郎」と言う犬と遊んだり休憩時には2年の教室で卓球をし、裏山で弁当をたべたりノンビリとした生活だった。先輩の藤田さんがラグビーを教えてくれ、一度だけ花園ラグビー場で対外試合をした思い出が記憶の中に残っている。



また独語の時間に「菩提樹」をドイツ語で「アンブルーネンホールデントレー」とみんなで歌った。

少人数だからこそその有意義な人間関係が築けた3年間の学園生活だったと思う。

当時の塩川先生、諸先生、同級生、後輩の努力で、発展した箕面学園、これからも箕面学園の名を永く後世に残してほしいと念願しています。アリガトウ 箕面学園。



## 回想

同窓会参与 畑 中 和 義 (S45年卒)

学法人箕面学園が平成27年11月に創立70周年を迎えられ心からお祝い申し上げます。

今思い出すことは、塩川先生の教えの中に生徒への対応は「親切に丁寧に」と常に言われておられました。

縁あり入学した私たちを無事卒業できるように、そして進学・就職へと導きよき社会人となる指針をしめしていただいた先生に深く感謝しております。近頃とみに難しくなってきた「人」との関係の中で「公私」の区別をどう位置づけ、諦めることなく努力し、忍耐をすることを塩川先生の座右の銘の一つ「初心忘るべからず」を心におきなが

ら社員たちに接する日々であります。

70年の伝統を守ることには本当に難しいものだと思います。理事長はじめ教職員と生徒そして同窓会と共に70年の伝統に甘んじることなく知恵を出し合いながら一丸となり心あらたに学園の発展に尽力する所存であります。

塩川先生から推薦を賜り学園の理事として、現理事長大長先生の下、未来ある学園にするにはどうあるべきか、を常々頭の中に置きながら重責を果たしたいと思っております。それが塩川先生へのご恩に報いる唯一のことだと思っております。

今後も学園と同窓会の発展を心から願いつつ100周年へと続きますよう期待しております。



## 古希を迎えて

同窓会副会長 松 浦 勉 (S38年卒)

今般、学校法人箕面学園が創立70周年を迎えられ、記念式典を挙行されましたこと心からお祝い申し上げます。

70年という輝かしい歴史を刻むことが出来ましたことは、創立者である塩川利員先生の教育にかける深い情熱・信念に基づくご指導、鞭撻があったことと信じております。そして何よりも先生の教育に対する情熱の理解者であり伴侶である大阪青山大学学長塩川和子先生の不断の支えにより幾多の難問も乗り越えてこ

れたことでありましよう。

さて、創立15周年を迎えた昭和36年に入学した時に最も強く記憶に残っている印象的なことは、高度成長を背景に従来の木造校舎に代わり鉄筋コンクリート校舎建設が主流となってきた当時、2階にギャラリーを備えた昭和ノスタルジーを感じさせる威風堂々とした講堂と入学式で歌った英語交じりの七五調の歌詞、また、必修授業でもあった道徳の時間は、「心を育てる」という観点から本居宜長、加茂真淵、鴨長明の考え方などについて先生から直接教養を頂いたこと。さらに、同年6月に高松宮殿下のご来校があ



り一同緊張してのお迎えをしたことでした。若年16歳の生徒にとっては、当時の学校生活は唯々眩しいばかりで、身の回りで起こっていること、学んでいること等を深く考えたり、捉えたりすることが容易ではありませんでした。古稀を迎え草創期の歴史に鑑みるに、これらの教えは正に先生が建学の精神である「日本の文化・伝統を守り育て、人作り」に「自彊不息」で取り組んでこられたことの具現化そのものであったのだと思います。

平成元年には既に国際科の生徒の海外語学研修を見通し、カナダ・ビクトリア市に箕面学園ビクトリア学舎（通称箕面ハウス）を設置された先生の先見の明には、唯々敬服するばかりであります。平成12年から当地での宿泊先として箕面ハウスが活用されたことや、太平洋を見渡せるビーコン・ヒル・パークでの桜の植樹・記念の銘板に揮毫された「友情は太平洋を越えて」等々の準備に関わられたことには、

感慨深いものがあります。

「国家百年の計は教育にあり」と言われています。「日本の復興は教育から」との建学理念が多様な形で見事に開花し、草創期に1クラスで発足した箕面学園高等女学校は、その後、箕面学園高等学校に校名変更を行い現在17,000余名の卒業生を社会に送り出しています。また、併設の付属幼稚園、福祉保育専門学校の活躍により地域の活性化を図ることにより、学園のさらなる躍進・発展を遂げられることを期待しております。創立70周年を契機に、塩川利員先生が想い抱いておられました「人づくり」の教育が継続されることにより、グローバル社会にも役立つ人材を1人でも多く社会に送り出されることと確信しています。

今後も、現役生と卒業生、そして本同窓会との絆が末永く続いていくことを切に願うとともに、今後のますますのご発展を祈念申し上げます。



同窓会事務局長 喜多 宣彦 (S49年卒)

箕面学園中学・高校が記念すべき創立70周年を迎えましたことをお祝い申し上げます。

同窓会として一緒にお祝い出来ることを嬉しく感じています。同窓会からは70周年を記念し、創立

者塩川先生作詞の校歌額を学園に寄贈いたしました。同窓会も会員数17,000名を超える規模になりいろいろな課題もありますが、歴史の中で培われた「伝統」や「経験」を活

かし、塩川先生の教えでもある「初心忘れるべからず」の精神を大切に、今できることは学園とともに連携を保ち同窓会活動に微力ながら尽くしたいと思います。学園のさらなる飛躍を願うと共に理事長はじめ校長、学校関係者の皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。最後になりましたが会員の皆様におかれましては同窓会活動にたいしまして一層のご支援を賜りますよう、宜しくお祈りいたします。



同窓会常任幹事 樋口 勉 (S55年卒)

箕面学園中学高等学校創立70周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。これも理事長先生、校長先生はじめ各教員の先生、学校関係者方々のご尽力があればこそとお慶び申し上げます。

記念式典も盛況の中行われ、同窓会からは記念品として体育館に校歌額が設置され、卒業生からの思いがまた一つ増えました。どうぞ卒業生の皆様は進化していく学園を見

に来て下さい。数年前に縁あって同窓会役員の仲間に入れていただきました。

在校中には気のつかなかったより深い先生方々の努力や、気遣いが内側から感じることができました。関係者の皆様が一つとなりいろいろな事業を丁寧に進め、この学び舎から更なる新しい世界へと巣立つ生徒へ深い愛情のもと、指導されてきたのだと。

校舎は耐震工事を施され内からも外からもより強さを備え、益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



同窓会常任幹事 西脇 慎太郎 (H14年卒)

現在は母校である箕面学園高校に着任して6年目になります。教科は英語を担当しております。教科指導面では一人でも「英語が解るようになった」という声があがるように指導しています。また生

活指導面では、社会人になっても困らないように「生きる力」を身につけ卒業させてあげたいという思いで日々の教育活

動に取り組んでいます。教員でもあり同窓生でもあるので、箕面学園高校のホームページの同窓会のリンク内のページがさらに充実したものとなるように尽力していきます。

同窓生の皆さん、放課後の部活、文化祭等の催事に頑張っている後輩たちの活躍、または教員・顧問の先生がたに会いにきて下さい。懐かしい当時の記憶が想い起こされることでしょう。



# クラブ紹介・活動報告

## 野球部

春季大会予選ベスト16位・私学大会ベスト8位  
大学野球の東海地区大学野球春季岐阜リーグ戦にH25年卒生の岐阜経済大学、城憲輝君と岐阜聖徳学園の床田真樹君の活躍が期待されます。

## カヌー部

インターハイ出場。

### 卒業生山田さんコメント

私は中学時代バレーボールをしていたのですが、クラブを引退すると同時に、箕面学園高校のカヌー部より勧誘を受けました。随分悩みましたが、顧問の先生の誠意を感じ、受けることにしたのが、7年前のことでした。

今年まで、高校のインターハイや大学のインカレ等、数多くの試合に出場できて、年を重ねるごとに表彰台に上がる回数や日本のトップレベルの選手と艇をならべることが増えてきたのですが、高校の時から目標であった国体出場という夢は、まだ叶えられていませんでした。

そして、今年学生生活最後の試合ということで、7月に行われた近畿ブロック大会で優勝できて、本国体出場が決まった時の喜びは一生忘れることができません。「カヌーをされていて良かった」と思いましたし、稲川先生に恩返しができたと思いました。

わかやま国体では、先生に見に来ていただいたお陰で全国4位という成績が残せました。

大学のコーチや同期生や諸先輩、後輩の方々に助けていただいたこと、又、7年間もカヌーをさせていただいた親に対しても感謝したいと思います。「報恩感謝」という言葉でしめくりたいと思います。

皆さん、ご声援、ご支援本当にありがとうございました。

武庫川女子大学 カヌー部  
山田 夏生

## バレーボール部

近畿大会にて2位入賞

## 陸上部

大阪高体連陸上競技に3名が出場

## 卓球部

大阪高等学校新人大会シングルス出場  
インターハイ予選出場。日々練習に励んでいます。

## ハンドボール部

インターハイ予選出場。

## ボクシング部

大会出場をめざし日々頑張っています。

## 太鼓部

8月三重県ブルーメの丘にて公演しています。

## 写真部

大阪府高等学校芸術文化連盟写真部講習会参加等箕面周辺の撮影・富士フィルム主催コンテスト参加

## 漫画研究部

主に文化祭などで活躍しています。

## バスケットボール部

第70回大阪高等学校総合体育大会等参加

## 柔道部

公式戦大阪私学大会に男子個人戦100kg級において3年生瀧川敬康君が優勝した。大阪高校総体で団体2部2回戦出場。  
金鷲旗高校柔道大会団体で2回戦勝利。

### 27年度大阪高体連私学柔道大会 優勝コメント 3年生 瀧川 敬康

柔道を通して様々な人と関わり、学校をはじめ、同窓会や保護者からご支援やご指導を頂いて、この度、男子100kg級で優勝することができました。ありがとうございました。

将来は消防士になることを目指しています。



## 美術部

### 1年浅野竜希君大阪私学美術展奨励賞受賞

### 浅野竜希君コメント

初めて描いた油絵の作品で賞をいただきました。自信にもなり大変喜んでおります。ありがとうございました。



## サッカー部

インターハイ予選3回戦出場。  
大阪高校生招待大会(けまりカップ)準優勝  
選手権大会4回戦出場。

## クラブ報奨金授与

- カヌー部(団体) バレーボール部(団体)
- 柔道部(個人) 瀧川敬康君
- 美術部(個人) 浅野竜希君



# 学園状況

## 平成26年度在校生数

(H27・5・1現在)

学年	男子	女子	合計
1年	195	29	224
2年	157	28	185
3年	129	20	149
合計	481	77	558

## ★退職された教職員 (平成27年3月31日付)

竹田 克 實                      三ツ石 友 昭  
竹 久 幸 志                      大 西      博

## 進路状況(平成26年度卒業生195名)

(H27・3・31現在)

進路	区分	区分		合計
		男子	女子	
進学	大 学	60	6	66
	短期大学	1	4	5
	専門学校	50	9	59
就職	公 務 員	1	0	1
	企 業	43	10	53
	そ の 他	7	4	11
	合 計	162	33	195

## ★就任された教職員 (平成27年4月2日付)

越 野 保 宏 (音楽)                      堀 江 美 雪 (養護)  
三 好 啓 太 (地歴・公民)  
加 藤 智 博 (数学)                      齊 藤      勤 (渉外)

## 協力金のお礼

会報協力金のご協賛有難うございました。厚く御礼申し上げます。  
平成26年度中にご協賛賜りました方々のご芳名は下記のとおりです。

(敬称略)

旧教職員	増 田 晃 子	S43	内 神 幹 夫	H8	東 梶 浩 一	一 仁
旧教職員	田 松 幸 彦	S43	島 西 原 裕	H8	木 崎 雅 美	友 郎
旧教職員	笠 野 山 案	S44	西 和 藤 一	H9	山 中 森 田	文 裕
旧教職員	筭 井 手 敏	S44	斎 藤 本 修	H12	中 藤 北 青	也 行
旧教職員	井 飛 辻 井 信	S44	江 柳 生 藤	H15	北 中 西 中	太 郎
旧教職員	辻 稲 野 健	S46	柳 近 森 船	H15	西 中 戸 加	隼 夫
S25中	中 坂 上 和	S47	森 上 越 多	H16	西 中 戸 加	輝 郎
S26高	坂 上 卓 義	S47	船 喜 上 若	H16	西 中 戸 加	太 郎
S26	西 中 田 山	S48	喜 上 若 秋	H19	中 戸 加 榮	建 祐
S27	西 中 田 山	S48	上 若 秋 真	H20	中 戸 加 榮	正 太
S27	和 西 大 森	S51	真 小 貝 佐	H21	中 戸 加 榮	和 彰
S36	西 大 森 田	S51	小 貝 佐 木	H21	中 戸 加 榮	拓 和
S37	大 森 田 (近藤)	S51	木 口 田 直	H23	中 戸 加 榮	太 哉
S37	森 田 (市川)	S52	口 田 直 幸	H24	中 戸 加 榮	馬 馬
S38	原 田 (市川)	S52	田 直 幸 修	H24	中 戸 加 榮	太 香
S38	前 田 益 男	S53	直 幸 修 昌	H25	中 戸 加 榮	良 香
S40	前 田 益 男	S54	昌 浩 敦 明	H25	中 戸 加 榮	一 吾
S40	山 浦 和 勉	S55	浩 敦 明 浩	H25	中 戸 加 榮	幸 甚
S40	山 浦 和 勉	S56	明 浩 哲 哲	H25	中 戸 加 榮	真 於
S40	神岡(荒木)	S57	哲 哲 一 司	H25	中 戸 加 榮	希 於
S42	新久保	S58	一 司 曉	H25	中 戸 加 榮	希 於
S42	中 田 裕 康	S58	有 志	H25	中 戸 加 榮	希 於
S42	中 田 裕 康	S62	計96名	H25	中 戸 加 榮	希 於
S42	亀 谷 長 和	S62	212,000円	H25	中 戸 加 榮	希 於
S42	大 下 政 一	S62		H25	中 戸 加 榮	希 於
S42	西 中 郁 一	S62		H25	中 戸 加 榮	希 於
S42	吉 川 明 男	S63		H26	中 戸 加 榮	希 於
S42	前 田 登 志 雄	H元		H26	中 戸 加 榮	希 於
S43	福西(井戸)	H6		H26	中 戸 加 榮	希 於
S43	里 孝 司	H8		H26	中 戸 加 榮	希 於

## 同窓会 近況報告

敬弔 ご冥福をお祈り申し上げます。

昭和42年卒 西 田 義 明 平成26年逝去

## ★事務局から

平成27年11月13日に創立70周年式典を無事挙行いたしました。多数の方々にご臨席賜りご祝辞もいただき誠に有難うございました。半世紀以上の歴史を刻むこととなりますが今後のテーマは「70周年の礎から輝く未来への躍動」とし、さらなる向上をと考えております。会員みなさまのご協力で支援宜しくお願ひ致します。



# 平成27年度総会報告

開催日 平成27年6月20日(土)午後6時開催  
場所 阪急宝塚線石橋「音羽茶屋」



## 議案

- 第1号議案 平成26年度活動報告の件
  - 第2号議案 平成26年度決算の件
  - 第3号議案 役員任期継続の件(役員・常任幹事)
  - 第4号議案 平成27年度活動計画(案)の件
  - 第5号議案 平成27年度予算(案)の件
  - 第6号議案 新幹事選任の件
  - 第7号議案 70周年について
  - 第8号議案 その他
- 上記議案につきまして承認されました。



- ★毎年6月第3土曜日に総会を開催します。  
今回も平成27年3月卒業された新幹事の参加をいただき委嘱状を渡しました。
- ★当日は大長庸祐名誉顧問(理事長)宮城福三顧問(高校長)山村博和(校長補佐)河野育郎(事務長)各先生にはご多忙のなかご出席いただき、大長名誉顧問より11月に70周年記念式典等の説明、宮城顧問より今後の動向等を拝聴、終始和やかな中、活発な意見交換をかわし深山会と母校の発展を誓い終了した。

## 各先生方の抱負

### 山村校長補佐

先代校長・塩川先生の厳しい教育で育ってきましたが、先生の思いやりと愛情をいただき教員となってからもその教えを持ち生徒に接してきました。授業の中で剣道を選択しその後、剣道部に籍を置き頑張っております。教員時代から現在も剣道に関わり8段を目指して日々精進しております。チャンスがあれば生徒とも一緒に練習出来ればいいなと思っております。

### 河野事務長

昨年4月に着任して1年になります。仕事内容は把握できますがやり方がそれぞれ違うため模索しながらの1年でした。70周年式典に協力方宜しく願います。

**野球部顧問・田中先生** 先輩諸氏が実業団、大学で活躍しています。現在部員は56名、春はベスト16でした。

**カヌー部顧問・齊藤先生** 昨年は国体を逃し悔しい思いをした。今年はインターハイ・国体共に出場したい。

**バレー部顧問・赤松先生** 府大会ベスト8・近畿大会準優勝

**柔道部顧問・松宮先生** 荒木君は関西大学へ進学し柔道部員として頑張っています。お世話になりました。

**サッカー部監督・辻村先生** 部員が40名となり活気溢れて練習しています。今年は優勝に向けて頑張りたい。

## 平成27年度役員紹介

役員	常任幹事	新幹事クラス代表
会長 S40卒 山本 裕	S27卒 西中卓義 他15名	上坂 勇貴 西村 圭太
副会長 S38卒 松浦 勉		上田 涼之 田中 佳依
副会長 S38卒 森 政彦		岡田 涼 引地 孝佑
副会長 S40卒 神岡 千代美		内山 朝未 村里 龍一
副会長 S49卒 喜多 宣彦	<b>事務局</b>	谷口 香苗 乃一文 太
会計監査 S26卒 中西 健治	事務局長 喜多 宣彦	井田 真人 中原 歩紀
会計監査 S38卒 前田 益男		鮫島 成美 福永 清楓



平成26年度決算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1. 一般会計

収入の部 (単位:円)

科目	予算額	決算額	予算額との差額
入会金	3,015,000	2,925,000	△90,000
同窓会協力金	100,000	212,000	112,000
利息	300	213	△87
雑収入	0	30,000	30,000
前年度繰越金	2,108,498	2,108,498	0
合計(1)	5,223,798	5,275,711	51,913

支出の部 (単位:円)

科目	予算額	決算額	予算額との差額
会議費	200,000	145,701	△54,299
慶弔費	20,000	16,416	△3,584
事務整備費	300,000	327,716	27,716
印刷費	700,000	573,282	△126,718
文具費	15,000	6,836	△8,164
通信費	800,000	619,866	△180,134
事務局費	240,000	240,000	0
クラブ援助金	420,000	400,000	△20,000
雑費	35,000	37,884	2,884
特別会計へ	1,000,000	1,000,000	0
計(2)	3,730,000	3,367,701	△362,299
次年度繰越金(1-2)	1,493,798	1,908,010	407,985
合計	5,223,798	5,275,711	51,913

2. 特別会計 70周年記念事業等の予定積立金

(単位:円)

科目	収入	支出	次年度へ繰越
預金利息	1,150	0	
前年度繰越金	5,866,922	0	
一般会計から繰入	1,000,000	0	
合計	6,868,072	0	6,868,072

監査の結果、適正かつ正確であると認めます。

平成27年4月23日

会計監査 中西 健治 ©  
 会計監査 前田 益男 ©

平成27年度予算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1. 一般会計

収入の部 (単位:円)

科目	予算額	前年度決算額	決算額との差額
前年度繰越金	1,908,010	2,108,498	△200,448
入会金	2,235,000	2,925,000	△690,000
同窓会協力金	250,000	212,000	38,000
利息	300	213	87
雑収入	0	30,000	△30,000
合計(1)	4,393,310	5,275,711	△882,401

支出の部 (単位:円)

科目	予算額	前年度決算額	決算額との差額
会議費	250,000	145,701	104,299
慶弔費	50,000	16,416	33,584
事務整備費	350,000	327,716	22,284
印刷費	100,000	573,282	△473,282
文具費	10,000	6,836	3,164
通信費	200,000	619,866	419,866
事務局費	240,000	240,000	0
クラブ援助金	500,000	400,000	100,000
雑費	50,000	37,884	12,116
特別会計へ	1,000,000	1,000,000	0
計(2)	2,750,000	3,367,701	△617,701
次年度繰越金(1-2)	1,643,310	1,908,010	△264,700
合計	4,393,310	5,275,711	△882,401

2. 特別会計 各種事業費の積立金

(単位:円)

科目	収入	支出	次年度へ繰越
前年度繰越金	6,868,072	0	
預金利息	1,000	0	
一般会計から繰入	1,000,000	0	
積立金		2,000,000	
合計	7,869,072	2,000,000	5,869,072

総会にて承認

平成27年6月20日

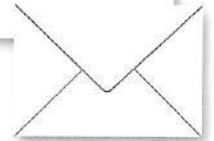


# クラス会・同期会のおすすめ

旧友との再会は懐かしいものです。  
 忘れつつある高校時代の思い出を語りあうのは人生の意義深い  
 ひとときではないでしょうか。  
 開催に際しては同窓会より援助金をお支払いしますので右記内  
 容をご記入のうえ、封書にて下記同窓会事務局まで送付下さい。  
 お待ちしています。

こちらの内容を記入して下記事務局宛まで

- ・開催日
- ・開催場所
- ・参加人数
- ・代表者名
- ・会名称
- ・卒業年度
- ・集合写真
- ・振込銀行
- ・口座番号
- ・領収書コピー
- ・名義名
- ・コメント



★同窓会事務局：〒562-0001 箕面市箕面7-7-31 箕面学園高等学校内  
 TEL：072-723-6551 FAX：072-724-2188

## 個人情報



箕面学園中学・高校同窓会深山会は会員管理・名簿作成・会報作成、  
 発送等については㈱サラトに委託しております。

お預かりしている個人情報は、個人情報の保護に関する法令その  
 他の規範を厳守して、目的の範囲のみに利用いたします。従ってサ  
 ラト以外からの問い合わせは、同窓会と一切関係ございません。

会員様の個人情報に関する確認・変更・削除等のお問い合わせは  
 ㈱サラト TEL 079-284-1380 又は同窓会事務局



# ～お知らせ～

## 「同窓会協力金」払込のお願い

この協力金は、同窓会活動の経費にさせていただきます。  
 何卒一人でも多くの会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。  
 ★協力金は郵便局の払込用紙にてお振り込みをお願いいたします。

 **お願い**

会員台帳の充実を図るため、住所不明の方の情報をご存じの方はFAX  
 またはメールにてご通知くださいますようお願いいたします。ご転宅・改姓・  
 吉報・訃報等は事務局までご連絡ください。

 **ご注意**

同窓会事務局から会員宅や勤務先に広告・物品販売等の依頼や照会は一  
 切いたしておりませんので営利を目的としたこの種の電話にはご注意くだ  
 さい。

同窓会事務局：〒562-0001 箕面市箕面7-7-31 箕面学園高等学校内  
 TEL. 072-723-6551 FAX. 072-724-2188



**メールアドレス migaku-douso@ace.ocn.ne.jp**